

特集

血液浄化療法入門

—原理と臨床の基礎を知る—



編集責任

つくば国際大学医療保健学部医療技術学科

篠田俊雄 SHINODA, Toshio

本特集では、血液浄化療法の原理および実地臨床の基礎的知識を、それぞれの分野のエキスパートにできる限り平易に解説いただいた。血液透析療法、腹膜透析療法に加えて、アフェレシス療法における諸技術も取り上げている。

血液浄化療法に应用されている技術の原理と、治療の効率にかかわる物質除去の指標を小久保謙一先生に概説いただいた。これによって、以降の血液浄化療法の臨床を理解しやすくなるものとする。

血液透析療法で行われる血液透析(HD)、血液濾過(HF)、血液透析濾過(HDF)の治療特性と使い分け、治療指標については久野 勉先生にお願いした。腹膜透析については中元秀友先生らに解説いただいた。持続的携行式腹膜透析(CAPD)、自動装置(サイクラー)を用いる腹膜透析(APD)の治療法、臨床効果と治療指標とともに、

血液透析療法との併用や相互移行など、包括的腎代替療法についても触れていただいた。

アフェレシス療法に関しては、血漿浄化療法を岡戸丈和先生ら、血液吸着療法を遠藤善裕先生、持続的腎代替療法を花房規男先生に概説いただいた。特に血漿浄化療法においては、近年注目されている選択的血漿交換法(SePE)にも触れていただいた。透析室や集中治療室におけるアフェレシス療法の理解に資するものとする。

本特集の総説は、臨床工学技士や看護師を目指す学生の学習における参考書として利用いただけるのみでなく、臨床経験が浅い若手臨床工学技士や看護師が臨床現場で参照するハンドブックとしても活用いただけるものと期待している。編集責任者として、本特集が安全で効果的な治療に役立つことを祈念するところである。